

令和4年10月6日

【報道関係者各位】

茨城県農林水産部林政課

全国育樹祭推進室

- 建築家「隈研吾」氏 基調講演 - 第46回全国育樹祭開催1年前キックオフイベント

「国民参加の森林づくり」シンポジウムの開催について

令和5年秋に本県で開催する第46回全国育樹祭に向けて開催機運を高めるために、開催1年前キックオフイベントとして、茨城県、(公財)森林文化協会、(公社)国土緑化推進機構、(株)朝日新聞社の共催による「国民参加の森林づくり」シンポジウムを開催します。

つきましては、本シンポジウム開催の周知についてご協力いただきますとともに、ぜひ取材にお越しいただきますようお願いいたします。

記

- 1 行事名 「国民参加の森林づくり」シンポジウム
- 2 日時 令和4年12月1日(木)11時45分~15時30分
- 3 会場 常陸太田市民交流センター(パーティホール)大ホール
(常陸太田市中城町3210番地)
- 4 内容
 - ・ 建築家の隈研吾氏による基調講演(テーマ:新しい時代)
 - ・ 筑波大学名誉教授の蓮見孝氏をコーディネーターとしたパネルディスカッション(テーマ:森とまちづくり)
- 5 対象者 森林や建築に関心のある方など、どなたでもご参加いただけます。
- 6 参加費 無料
- 7 募集人数 300名(事前申し込み制(先着))
申込期間:令和4年10月11日(火)10時~10月31日(月)
- 8 申込方法 第46回全国育樹祭のホームページよりお申込みください。
ホームページURL: <https://ibaraki.ikujusai.jp/>
(電話、メール、FAXからはお申込みいただけません。)
- 9 主催 茨城県、(公財)森林文化協会、(公社)国土緑化推進機構、(株)朝日新聞社
- 10 後援 林野庁、常陸太田市、(公社)茨城県森林・林業協会、(一社)茨城県建築士会
- 11 備考
 - ・ ご取材いただける場合は、当日、会場受付までお越しくください。
 - ・ スケジュールの都合により、建築家・隈研吾氏への個別の取材はできませんので、予めご了承願います。



なお、国・県・那珂市と森林・林業関係団体により設立した実行委員会の主催で、第46回全国植樹祭開催1年前のイベントとして、令和4年11月23日(水・祝日)に「グリーンフェスティバル2022」が茨城県林業技術センター(那珂市)を会場に開催されますので、併せてお知らせいたします。

【本件に関するお問合せ先】

茨城県農林水産部 林政課 全国育樹祭推進室 担当:川上・酒井

電話:029-301-4018 FAX:029-301-4039 MAIL: ikujusai@pref.ibaraki.lg.jp

第46回 全国育樹祭
いばらき 2023

誰かじゃない 僕が育てる 緑の日本



も り

「国民参加の森林づくり」 シンポジウム

基調講演

テーマ

「新しい時代」

隈 研吾氏

建築家、
東京大学特別教授・名誉教授

ハーブ演奏[オープニング]

宮田 悠貴氏/コンサーティスト

パネルディスカッション

テーマ

「森とまちづくり」

コーディネーター

蓮見 孝氏/筑波大学名誉教授

パネリスト

原 忠信氏/筑波大学准教授

辻 徹氏/木漆工芸作家、器而庵代表

松本 美枝子氏/写真家

仲澤 二三子氏/大子那須楮保存会会員

和田 幾久郎氏/(株)ナムチェバザール代表取締役

令和4年

12月1日木

11時45分～15時30分 ●受付:11時～

募集
人数

300名

※事前申込制(先着)

入場 無料

会場

常陸太田市民交流センター
[パーティホール]大ホール

常陸太田市中城町3210番地 ※無料駐車場あり

お申し込み方法など、詳細は裏面をご覧ください。

誰かじゃない 僕が育てる 緑の日本

第46回

全国育樹祭

— いばらき 2023 —

「国民参加の森林づくり」 シンポジウム



©J.C.Carbonne

基調講演

隈 研吾氏

1954年生。1990年、隈研吾建築都市設計事務所設立。慶應義塾大学教授、東京大学教授を経て、現在、東京大学特別教授・名誉教授。30を超える国々でプロジェクトが進行中。自然と技術と人間の新しい関係を切り開く建築を提案。主な著書に『全仕事』（大和書房）、『点・線・面』（岩波書店）、『負ける建築』（岩波書店）『自然な建築』、『小さな建築』（岩波新書）、他多数。

パネルディスカッション

コーディネーター



蓮見 孝氏／筑波大学名誉教授

Hacソシオデザイン研究室主宰、筑波大学・札幌市立大学名誉教授。1948年神奈川県生まれ。1971年に東京教育大学教育学部芸術学科工芸・工業デザイン専攻卒業後、日産自動車に入社。1976年に英国留学後、1991年筑波大学に転籍。2000年教授。広報戦略室長、学長補佐など歴任。2012年～2017年札幌市立大学理事長・学長。

パネリスト



原 忠信氏／筑波大学准教授

筑波大学芸術専門学群卒業。米国Rhode Island School of Design, MFA修了。Apple, Coca-Colaなどのデザイン実務に携わる。近年は自作の電を自転車で運ぶ「電プロジェクト」や筑波山の環境保全を目的とした「つくばトレイルガーディアンズ」の活動など、アクティブモビリティや遊びながらコミュニティのレジリエンスを向上する方法について研究。



辻 徹氏／木漆工芸作家、器而庵代表

1963年札幌市生まれ。1990年東京藝術大学大学院漆芸専攻修了。1991年高岡短期大学(当時)木材工芸専攻研究生修了。美和工芸ふれあいセンター工房指導員として商品開発等を行う。1996年(有)ウェアウッドワーク設立。2008年漆掻きを始め、2010年大子漆八溝塗器而庵を設立。2015年(公社)国土緑化推進機構により森の能手・名人に認定。2019年文化庁長官表彰。



松本 美枝子氏／写真家

茨城県出身。写真家、アーティスト。(一社)自由と地図代表理事。国内外での撮影の他、全国の美術館や自治体、企業などからの招聘による作品制作、及び文化と地域連携の協働プロジェクトなどに多数参加。2021年より茨城県北地域おこし協力隊マネージャーとして、常陸太田市の拠点「メゾン・ケンボク」を中心とした県北地域における協力隊と地域関係者のネットワークづくりと情報発信を行っている。



仲澤 二三子氏／大子那須楮保存会会員

大子那須楮保存会、大子漆保存会会員。1984年、茨城県南・県西エリアに地域情報紙を発行する(株)常陽リビング社入社。2000年から編集長・編集局長を経て2017年退職。同年、故郷大子町に戻る。2018年～22年3月まで(一社)大子町特産品流通公社に勤務し、特産品等のPR及び販路拡大、新商品開発などに携わる。



和田 幾久郎氏／(株)ナムチェバザール代表取締役

(株)ナムチェバザール・(株)祐月本店代表取締役、(株)アクアクララ水戸代表取締役、NPO法人WaterDoors理事長。1967年水戸市生まれ。大学卒業後、総合商社(株)トーメンに入社。1994年に水戸市に帰省、実家の(株)祐月に入社し、アウトドア事業部を新設しアウトドアプロショップ「ナムチェバザール」をオープン。2019年より県北部の6市町を跨ぐロングトレイル整備事業を茨城県と共に始める。



ハープ演奏[オープニング]

宮田 悠貴氏／コンサーティスト

東京藝術大学を卒業後、リヨン国立高等音楽院ハープ科へ首席で入学、フランス国家音楽家専門資格を取得し卒業。元ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団首席ハープ奏者のXavier de Maistre伯爵に師事。リヨン国立管弦楽団等での活動後、現在はコンサーティストとして活動。多数の国際コンクールで入賞している。

お申し込み方法

参加をご希望の方は、下記 URL の応募フォームからお申し込みください。電話、メール、FAXからはお申し込みいただけません。

■お申し込み期間：令和4年10月11日[10時]～10月31日

※先着300名様。定員に達し次第、お申し込みを締め切らせていただきますのでご注意ください。

■URL(第46回全国育樹祭HP)

<https://ibaraki.ikujusai.jp/page/page000017.html>



■主催：茨城県、(公財)森林文化協会、(公社)国土緑化推進機構、(株)朝日新聞社

■後援：林野庁、常陸太田市、(公社)茨城県森林・林業協会、(一社)茨城県建築士会

■お問い合わせ：茨城県農林水産部林政課全国育樹祭推進室

TEL/029(301)4018 MAIL/ikujusai@pref.ibaraki.lg.jp

※新型コロナウイルス感染症の動向により、開催内容を変更させていただきます場合がございます。また、ご参加の際はマスクの着用や手洗い、消毒など感染防止対策にご協力をお願い申し上げます。